

看護部長通信 1月号

新しい年を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか。

皆様は年始の誓いをされましたでしょうか。おみくじを引いて、今年の運試しは皆様にとって最良となりましたでしょうか。

さて、今年4月には、新しい年号が決まり、5月には天皇交代と新たな歴史的瞬間に遭遇することになります。新天皇陛下は私と同世代ということもあってとても光栄に思います。

また、今年の干支は亥ですが、私の身近では父と姉が亥年にあたります。特徴は、多くの方がご存知だと思いますが、2人ともまさに猪突猛進タイプで、何事にも情熱的で自分の思うままに行動し、私はいつも引っ張ってもらっていたように思います。幼い時から2人を見て育ってきた私は、あの迫力に圧倒されて強く逞しく生きてきました。

ところで、今年、看護部として取り組むことは、「自分が受けたいと思う看護をどう実践するか。」を念頭に置くことにしたいと考えています。現在、勤務しているスタッフの皆さんは、病院に受診した経験が必ず1度はあると思うので、相手の立場になって行動することは可能であると思います。基本的なあいさつ、言葉遣い、環境への配慮などの接遇に関して実際に怠ることは、相手に不快な気分をあたえてしまうことにもなるので、自身が気づく事が大事になります。この場合、何かを変えようとするのであれば、意識的に変えなければ良い方向へは変わらないと思います。とにかく、1人よりもチーム力で変えていきたいと思っています。20代から60代の幅広い職員層ではありますが、看護師本来の優しさと粘り強い底力をお借りして、看護の和を広げてチーム力アップをしていきたいと思っています。

昨年は、看護部の理念に沿って部署目標を掲げてもらいました。今年は、1年間の看護、介護目標を一人ひとりが明確にして、実践に向けての行動目標を掲げることにしたいと思っています。今までは、漠然として業務遂行してきた感があり、それは、目的意識が希薄なための現象と考えますので、各部署の主任に協力していただき、スタッフが意識的に行動できるように環境面をきちんと整備し、目標到達できるように指導してもらうことにしたいと考えています。スタッフの皆さんには、目標面接を適時行っていきたいと考えています。

今年に入り看護師の応募が相次いできています。いい人材を受け入れ、この病院にとって必要な人と一緒に仕事をしたいと思っています。看護師の資質は千差万別ではありますが、基本的にはいい人の集団だと自負しています。これからもこの考えのもとにいい人材を採用していこうと思います。

今年の抱負は、「昨年以上に看護部の組織強化に努め、教育システムを確立し、より良い看護サービスの提供が可能となるよう、一人ひとりが自己研鑽すること。」にしました。

光市周辺の高齢化が進む中において当院の位置づけがどうなっていくのかということを考えて、看護、介護を実践していく私たちにとっては、常に相手の立場に立って行動できるようにしていくことだと思います。

今年は、歴史に残る1年となるでしょう。皆様の人生にとって忘れることのない一コマになるとともに、心穏やかな1年となることを祈念いたします。

平成31年1月15日

看護部長 伊藤節美